

このたび、沖縄県立宜野湾高等学校に赴任いたしました校長の津留一郎と申します。

本校は、創立38年とまだ若い学校ですが、高校入試志願者の増加、活発な部活動とこれからどんどん伸びていく学校です。また、PTA、教職員一同が「誠実・自主・創造」の校訓のもと、新たな宜野湾高校づくりに取り組んでいるところです。

「育成したい生徒像」は、次の3点です。

- (1)自ら日常生活を点検し、改善できる生徒
- (2)主体的・協働的に学ぶ力を持つ生徒
- (3)未来につながる自分と仲間を大切にする生徒

上記の生徒を育成するために、本年度の「努力目標」を次の5点としました。

- (1)生徒の自主活動の推進
- (2)生徒指導の充実(基本的生活習慣の確立)
- (3)進路指導の充実
- (4)学習指導の工夫・改善・充実
- (5)部活動の活性化

「(1)生徒の自主活動の推進」については、学校の教育活動全体を通して、生徒が「気づき、考え、実行し、振り返る」ことを意識し、行動できるように育成して参ります。

「(2)生徒指導の充実(基本的生活習慣の確立)」については、勤怠・挨拶・言葉づかい等の基本的生活習慣(「時を守り、場を清め、礼を正す」)の確立を図ります。

「(3)進路指導の充実」については、3年間の計画的な進路指導を行い、生徒の進路実現を支援いたします。

「(4)学習指導の工夫・改善・充実」については、基礎的・基本的内容の確実な定着と生徒が主体的に参加できる授業改善(主体的・対話的で深い学びの実現)を図ります。

「(5)部活動の活性化」については、部活動加入率向上及び外部指導者の活用により部活動の活性化を図って参ります。

さて、本校には通信制課程があり、教育目標にも「全日制・通信制課程の共生」が謳われています。「通信教育の充実」については、①生徒の興味・関心を考慮し、学習意欲を喚起するための添削指導や面接指導の工夫・改善を行うなど、学習指導の工夫・改善 ②生徒のニーズに応えるため、単位修得のためのガイダンスを行い、高校卒業程度認定試験、技能検査等の単位認定の諸制度の活用を検討して参ります。

高校三年間は長い人生の中にあってはほんのわずかな時間にすぎませんが、自分の人生について悩み、考える重要な時期です。本校は、生徒たちが人生の目標を見つけ、その実現へ向けたサポートをしていきたいと考えています。今後とも、本校へのご支援をよろしくお願いいたします。

